

# ホームページ開設

# 山口維新の会

## 過去の市議会報告を ご覧頂けます

山口市議会報告 第四号  
発行責任者 竹中一郎  
<https://takenakaichiro.com>  
〒753-0251 山口市大内千坊2丁目16-5

山口市議会における会派である「山口維新の会」は創設1周年を迎えました。市民の皆様にも市政の情報を提供することも、市議会の大きな役割だと認識しています。

そこで山口維新の会では、市議会定例会ごとに市議会報告を発行・配布しております。この度、ホームページからいつでもご覧いただけるようにいたしました。

**山口市議会報告**

第一号	第二号	第三号	第四号
<ul style="list-style-type: none"> <li>豪雨災害対策</li> <li>新山口駅北地区拠点施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口情報芸術センター</li> <li>観光地域づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働によるまちづくり</li> <li>中山間地域振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ開設</li> <li>中心市街地活性化</li> </ul>

山口維新の会は、市議会定例会ごとに市議会報告を発行・配布しております。部数に限りがありますので、上記PDFにてご覧下さい。

〒753-0251 山口市大内千坊2丁目16-5  
発行責任者 竹中一郎

Home Blog Facebook Twitter



それぞれの号をクリックしたらバックナンバーが閲覧できます。

山口維新の会

# 「山口市まちなか広場デザイン会議」って何？

## 2019年夏、商店街に新たな広場オープン！！

### どんなまちを目指そうとしているのか？

- 「山口市まちなか広場デザイン会議」の参加者は？
- 中心商店街の「東西の核」は？
- 「マルシェ中市」の現状は？
- 空き店舗対策は？

### まちの活性化は実現できているのか？

- 中心市街地活性化の様々な施策の効果は？
- 居住人口の増加は経済効果に繋がっているのか？



会議の様子

「何を整備するか」というハード面だけではなく、私たち市民が中心市街地にどのように関わり、また買い物等で訪れた際にどんな楽しい時間を過ごすことができるのか、ソフト面の検討が重要だと思います。これまでの対策の検証とあわせて、これからの中心市街地のあり方、活性化の進め方を市民の皆さんと一緒に考えたいと思っています。

# 市議会定例会での質問と答弁

## 「公立保育園・幼稚園のあり方」について

**問** 待機児童の対策に一定のめどが立つ中、幼児教育無償化や次期子ども・子育て支援事業計画の見直しも含め、今後のあり方について市としてどのような考えか。市民・民間事業者に対し、十分に時間をかけて理解と協力を得るべきである。

**答** 幼児教育無償化が開始されることで、さらなる保育ニーズの高まりにより保育園では園児数がふえ、反対に幼稚園では園児数が減少する課題に対し、職員一丸となって解決できるよう鋭意努力する。公立保育園・幼稚園のあり方については、民営化基本方針等策定時から制度なども大きく変わり、子どもを取り巻く環境についても、同様に大きな変化が見受けられる。そのような中、保育園・幼稚園における需給バランスや民間に対する公立の役割などについても十分考慮し、また関係団体と調整を図り、民営化や幼保一元化についても手法の一つとして検討するとともに、現在策定中の第二期山口市子ども・子育て支援事業計画にもしっかりと反映させていきたい。

## 「協働による地域づくり」について

**問** 住民同士の話し合いを中心に、住民が主役となった地域づくりは、今後の人口減少、少子高齢社会においては大変重要である。住民が主役の地域づくりの取り組みをどのように支援するのか。

**答** 職員それぞれに担当地域を割り振り、積極的に地域に出向き、地域の皆様の声を伺い、各地域交流センター職員や各総合支所職員と連携し、地域での取り組みを支援する体制を整えている。さらに地域づくりコーディネーター養成講座「やまぐち草莽塾」を開講し、地域作りに必要なスキルを学ぶとともに、フィールドワークや地域課題の解決に向けた企画立案の実践を通じて、地域づくりのコーディネート力を有する人材の育成を図っている。

**問** 地域課題が複雑化、多様化する中、住民の話し合いによる事業を実現するために、縦割り行政ではなく部局間での連携が必要と考える。その連携体制をどのように構築するのか。

**答** 協働による地域づくり推進本部を設置し、部局横断的に連携して取り組む課題の調査・検討をし、各部の政策管理室に所属する職員を協働による地域づくり推進員として位置づけ、全庁的な課題の把握及び連絡調整を実施することとしている。また、協働による地域づくりワーキンググループを設置し、部局横断的に取り組む課題について具体的に検討していく。

## 「中山間地域振興」について

**問** 阿東、徳地地域をはじめ、本市で活動している「地域おこし協力隊」の活動や実績とあわせて、中山間地域の振興についてどのような取り組みが行われているのか。

**答** 「地域おこし協力隊」とは都市地域等の住民を過疎地域等に受け入れ、地域ブランドや地場製品の開発、農林水産業への従事などの地域おこし活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みである。これまでに23名の隊員を採用し、その内14名の隊員を中山間地域に配置してきた。多くの隊員が地域への定住を望む一方で、退任後の収入の確保などに不安を抱えている。そこで在任中から、将来の生業を見据え、その研究を行うビジネスモデル構築研究事業や起業支援補助金による起業の支援を行っている。大きな夢と希望を持って、人生をかけて来られた隊員の想いを第一として、地域おこし協力隊制度が市民の期待にも一層応えるものとなるよう、鋭意取り組んでいく。